

子どもを亡くした親たちのグリーフケアを推進・普及するための事業

特定非営利活動法人 病気の子ども支援ネット遊びのボランティア

〒162-0056 東京都新宿区若松町1-10 YSビル302号室

助成事業の概要

文集作成

対象) グリーフケアクッキングに関わった親たち
8名

方法) インタビュー形式

期日) 2024年1月より2025年5月
1000部製本完成9月

内容 詳細)

1. こどものこと
2. 闘病生活
3. 活動を知った背景と参加した感想

体裁) 一人4000～5000字（同じような経験をした者同士が、料理を通して一緒に作って一緒に食べて、お茶を飲みながらおしゃべりをする。そのことによって、泣いて笑える仲間を得ながら喪失の悲しみをシェアしあうことの意義を伝えている。

②フォーラム開催

開催時期) 2025年10月25日

会場) 明治学院大学講堂 時間) 10時から14時

第1部 こども病院のボランティア活動紹介

第2部 パネルディスカッション「グリーフを
シェアし合うクッキングの試み」

報告者 神奈川こども病院のボランティアコー
ディネーター加藤悦與

国立成育医療研究センター緩和ケア医 余谷暢之
明治学院大学社会学部教授 茨木尚子

クッキング参加者2名

参加は130人 主に医療や福祉、教育、ボラン
ティア活動に関心をもつ方々の参加

会場にはパネル展示を開催した。35年のあゆみの年表と写真の展示も。

事業の成果

記念誌感想

- 35周年記念誌をよみ生きてることがどんなに素晴らしいことか、再認識させていただきました。グリーフシェアという場の”さりげなさ”と底力に吐息が出ます。
- 深い悲しみを抱きながらもこんなに元気に笑い合いながら生きることができるんだと思うと、未来に、人生に希望の光が灯ります。
- 「お母さんたちはグリーフケアではなく、グリーフシェアを望んでいた」という一文にとっても大切なことを教えられました。
- グリーフをシェアし合う坂上さんの活動が親御さんに寄り添っているのがよくわかります。とてもよくまとまった内容で、素晴らしいです。
- 目の悪い私でも、あまり苦勞なく読める活字の配分で、とても読みやすいです。
- 読ませていただいて、病気の子供さんや親御さんの苦勞悩みが伝わり、とても考えさせられます。しかし、皆さん前向きにとらえて生きていらっしゃることに感銘を受けています。
- 長男と次男を難病で亡くした経験があります。長きにわたる幅広い活動には、本当に頭の下がる思いです。

フォーラム感想

- 有意義な会に参加させていただきありがとうございます。
- 人と人があたたかく触れ合った会でした。
- パネルディスカッションにもぶれない精神のあるようがあふれていました。
- お母さまの貴重なお話を伺い、医療看護の教育に携わる身として、力になれること、研究活動や看護師育成に取り組んでまいりたいと思います。
- フォーラムを聞いて、これからもボランティア活動を続けていこうと思いました。
- 家族の方の思いを聞かせていただいて良かったです。
- グリーフシェアの活動は人は人に支えられ、支え合う素晴らしいものだと感じました。
- 具体的でとても貴重な時間でした。○大学で病弱総論を学んだがグリーフケアについては触れてなくて、このような活動があることに驚きました。すごく貴重な時間となりました。

関心を高めている。

- 行政への提言を実施して、行政の新たな動きがみられている
区長と話そう～しんじゅくトーク～に出席（2025年11月12日牛込筆筈町）し、死別後のグリーフケアに関する取り組みの遅れ（ほとんどないこと、また情報もないこと）に対する意見書と記念誌を提出したところ、12月に区政情報課広聴係より返信を得た。区の健康部健康政策課と対面で詳細の打ち合わせを予定している。また新宿区の区議会にも議題としてあがり「おくやみ窓口の設置」についての議員と対面で情報交換を行った。
- 冊子を読んだ大阪の病院の医師からグリーフシェアの実践を大阪でもやってほしいと声がかかり、3月に実施予定。
- NHK のテレビ番組が当法人の活動を密着取材中で（取材期間は2025年1月から2026年2月）5月ごろにETV特集として放映予定である。日本で取り組みが遅れているグリーフケアに関する反響を期待している。

成果の広報・公表

- ホームページ、ブログ、フェイスブック、インスタグラムなどで活動のインフォメーションと報告を行った
- 新聞あかはた（2025・9・24）朝日新聞神奈川版（2025・10・18）朝日新聞東京版（2025・10・23）に掲載された
- 今年度はじめの通信でフォーラム全体の概要をまとめ、報告書として配信予定。

今後の展開

- 記念誌は1000部印刷。500部郵送、200部手渡しした。読者は当法人の会員や医療福祉看護に関わる人や団体などでグリーフシェアへの